

加古川市議会議員 柘植厚人(つげあつひと) 合同市政報告書 令和2年第2号

【研修報告】立命館大学の森裕之先生の公共施設の再編に関する研修を受けさせていただきました。全体的に非常に有意義な研修でしたが、とりわけ以下の部分を加古川市に取り入れたいです。



「公共施設の再編においては以下の二つの視座を統合する必要がある。

一つ目は、公共施設のマネジメントである。これは人口変化や財政状況の観点から、**行政効率的な**公共施設の再編・運営を進めるという視座である。二つ目は、**地域住民の自治計画**である。

これは、公共施設を使う主体である地域住民の暮らしや経済活動の観点から、維持可能な地域社会の持続を見据えた再編・運営を進めるという視座である。両視座の間には広大な領域がある。その広大な領域のどのあたりで**財政健全化と市民満足度の利益の調和**を図るか、そこが創意工夫のしどころである。その創意工夫は、場当たりのなものでは市民の理解を得ることは難しい。議会や行政は、**毅然としたリーダーシップ**を発揮すると同時に**深い愛情と思想哲学が不可欠**である。それは「将来の計画に定めるべき一本の街路にも、一つの小公園にも、一つの**理想**、一つの指導原理によって貫かれた方針がなければならない。…成功すべき都市計画は実に偉大なる人物の思想の産物であり、同時にまた現代思潮の産物といえることができる」という関一という言葉にもあらわれている。この関一が設計した、大阪の錦橋は中央に向かって盛り上がり舞台のような構造になっている。これは多くの国民が貧しかった時代に、**人間はすべてそれぞれの人生という舞台の主人公であることから誇り高く生きて欲しい**という願いが込められている。このように橋一つにも**市民に対する深い愛情と思想哲学**を込めるべきである。」

【2020年3月議会における一般質問の概要】

「加古川市の**子ども食堂に対する捉え方、連携、協力**についてどのようにお考えか」、また「**地域社会において、子ども食堂が受け入れられ、理解協力を得ることができるようになるために行政がなすべきこと**についてどのようにお考えか」問い、最後に以下の要望をいたしました。「**未来の社会を担う子どもたちが自分の可能性を信じて人生を切り拓いていける**ことが大切です。しかし、現実には家庭の事情等によって人生が左右されてしまう場合が少なくありません。**貧困の世代間連鎖を断ち切る**ことを目指すとともに、未来を担う人材育成策として取り組むことが大切です。したがってわが市におきましても、**子どもの成長を権利として保障**する観点から、**成長段階に応じた切れ目のない施策**を実施することを要望いたします。」

【2019年12月議会における一般質問の概要】

「**学校外の多様な学び**」について問い、最後に以下の要望をいたしました。「**たった一度の大切な人生の意義を、可塑性のある若い時期から、しっかり時間をかけて考え、そのプロセスにおいて生き抜く知識知恵を身につけること**を選択することを尊重していただきたい。従来型の学校教育になじめない児童生徒にも**自尊心や、生きることのみずみずしさを失うことなく、生きる根っこを太く育てる機会**を与えてほしい。」

【お知らせ】加古川市議会 柘植厚人と落合誠の「なんでもトークカフェ」を開催いたします。

市政に関するご意見ご要望をお聴きします。

日時：令和2年5月26日（火）14時～16時

場所：加古川市総合福祉会館 加古川町寺家町177-12 【参加費無料】【事前申込不要】【出入自由】